

「ナノバブル水」で病気に強い、元気な農作物に！

【3大特長】

◇ 植物細胞を活性化

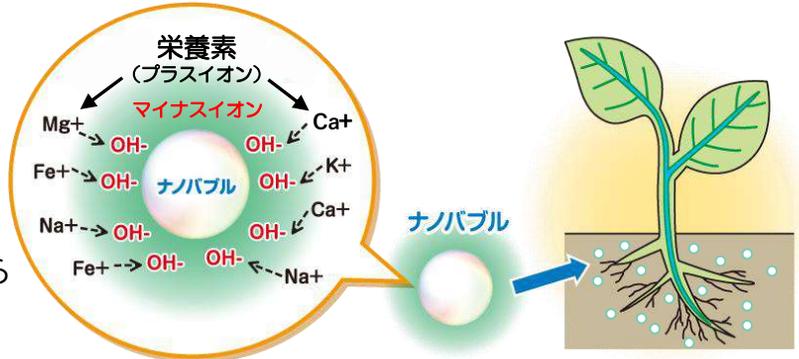
優れた浸透性を有するナノバブルは植物細胞をより活性化させます。

◇ 栄養素の吸収効率促進

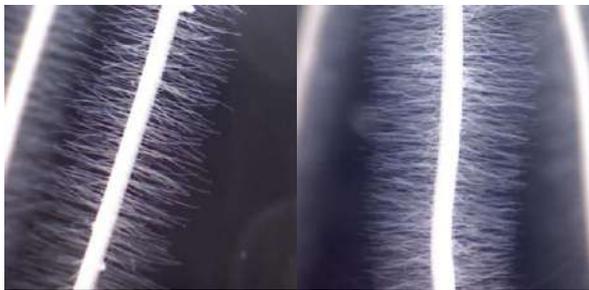
ナノバブルに栄養素が引き寄せられ、根からの吸収を促進します。

◇ 安全で安心 そして経済的

水と空気のみで作られているため、安心して安全、しかも安価で経済的です。



【毛細根比較】(カイワレの根)



水道水

ナノバブル水

【根量比較】(かぼちゃの根)



水道水

ナノバブル水

【葉枯れ回復事例】(いちご)

高温障害による葉枯れが1ヶ月で回復しました。



(2010年9月25日撮影)

1ヶ月



(2010年10月28日撮影)

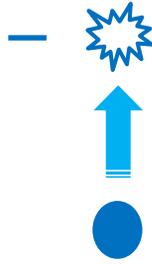
【ナノバブルとは】

目には見えない大きさの、ナノバブルは浮力が小さいため、水中に長期間残存する性質を有しています。

※製造方法、水質環境によって半永久的に残存します。

ミリバブル

直径1mm以上



水面まで
上昇し破裂

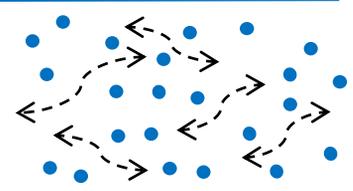
マイクロバブル
(ファインバブル)

直径0.5~50 μm



ナノバブル
(ウルトラファインバブル)

直径0.1 μm以下(100nm以下)



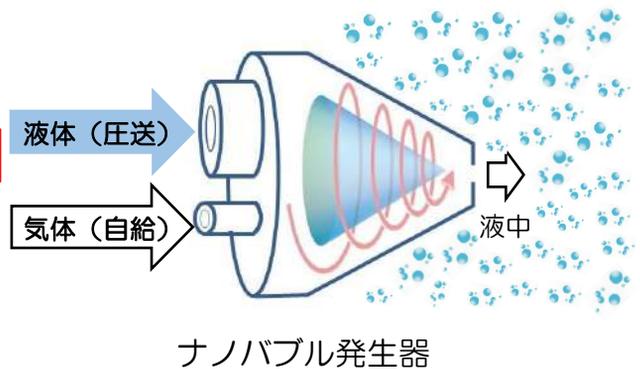
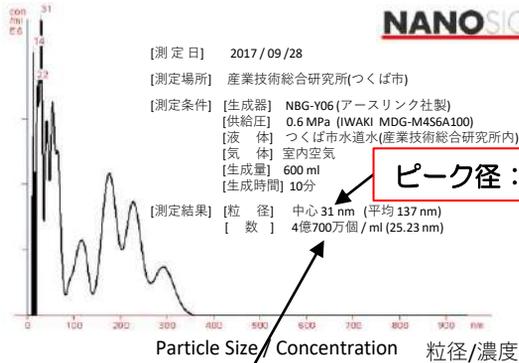
水中に長期間残存する

【ナノバブル水製造技術特長】

- ◇ 国の研究機関「産業技術総合研究所（つくば）」と共同で開発した技術です。
- ◇ 「気液二相流旋回方式」による発生方式を「循環生成」することで、低コストで安定したナノバブルを作り出しています。

[産業技術総合研究所による粒子測定データ]

[気液二相流旋回方式]



NanoEarth

(特許 第5660510号) (登録商標 第5648383号)

「Nano Earth (ナノアース)」は産業技術総合研究所(国研)と共同開発したナノバブル水製造装置のブランド名です。

根活

(特許 第5146784号) (登録商標 第5369906号)
 (特許 第5648830号)

「根活(こんかつ)」は産業技術総合研究所(国研)と共同開発したナノバブル植物活性水のブランド名です。

株式会社 **アースリンク**

〒254-0013
 神奈川県平塚市田村 1-18-3
 TEL 0463(79)8350
 FAX 0463(79)8351
 E-mail : toiwase@earthlink.jp



販売店

お問い合わせ先 **セイコーエコロジア**

〒183-0046 東京都府中市西原町1-15-2
 TEL.042-572-3326 FAX.042-572-3327
 E-mail sl@ksks.co.jp
<https://ecologia.100nen-kankyo.jp/>



ナノバブル水の使い方

◇ 下記の倍率を目安に希釈してご使用ください。

区分	定期灌水	農薬散布	葉面散布	発芽、挿し芽など
倍率	200倍	100倍	100~50倍	50倍

☆ 厳寒期、高温期など、根の動きが悪い時期の灌水には推奨倍率より濃く（50倍～100倍）ご使用ください。

☆ 露地などで灌水回数が少ない栽培では「10～50倍」でご使用ください。
（水と空気から作られているため、濃度が濃くても害は有りません。）

※ 倍率での施与が難しい場合には「1反（10a）当たり「10～20ℓ/1回」の原液を灌水方法に応じて希釈してご使用下さい。

灌水または養液タンクが設備されている場合

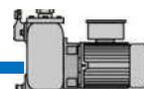
ナノバブル水



- ☆ 灌水タンクまたは養液タンクに直接入れてください。
- ☆ 水耕循環式でも同様にご利用ください。



養液タンク



灌水ポンプ



圃場

例) 1Tの養液タンクの場合にはナノバブル水を20ℓ投入すると50倍になります。

葉面散布や露地栽培の場合

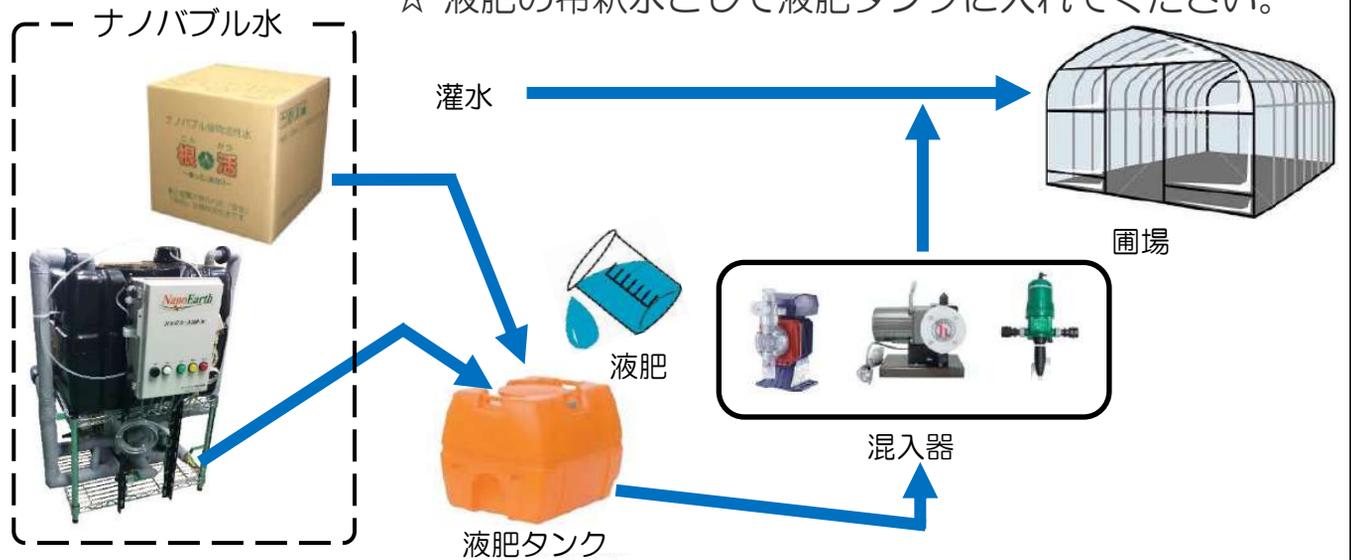
☆ 散布剤を溶く際の希釈水としてご使用下さい。

例) 100ℓの葉面散布液を作る場合に
ナノバブル水を2ℓ投入すると
50倍になります。



混入器を利用する場合

☆ 液肥の希釈水として液肥タンクに入れてください。



混入器の倍率に合う量のナノバブル水を、液肥タンクに入れてください。

株式会社 アースリンク

〒254-0013
神奈川県平塚市田村 1-18-3
TEL 0463(79)8350
FAX 0463(79)8351
E-mail : toiwase@earthlink.jp



販売店

お問い合わせ先

セイコーエコロジア

〒183-0046 東京都府中市西原町1-15-2
TEL.042-572-3326 FAX.042-572-3327
E-mail sl@ksks.co.jp
<https://ecologia.100nen-kankyo.jp/>



(特許 第5146784号)
(特許 第5648830号)



(登録商標 第5369906号)

「根活」とは、(国研)産業技術総合研究所と共同開発した「農作物向けナノバブル水」のブランド名です。

ナノバブル植物活性水 (K-20L K-20LC)

「成長が早く」「病気に強い」野菜・果実・花が育ちます！



ご利用者(お客様)の声

- 発芽が早く。成長も早い。
- 成り疲れが少なく、回復も早い。
- 病気に強くなった。
- 果実が大きくなった。
- 根の張りが良くなった。
- 農薬の使用量を減らせた。
- 収穫期間が延びた。
- 糖度が上昇した。
- 葉枯れ(チップバーン)が減少した。
- 水の吸い上げが良くなった。



K-20LCには
レバーコックが
同梱されています

※価格は送料、消費税(10%)込み

品番	K-20L	K-20LC
外寸	W300×D300×H300 (mm)	
容量	20ℓ (20Kg)	
容器材質	(外装)段ボール	(内装)ポリエチレン
販売希望価格	4,950円	6,050円

【商品の特長】

- ① (国研)産業技術総合研究所と共同開発し、特許を取得しています。
- ② 原料が「水」と「空気」から作られているため、「安全」で「安心」です。
※飲料用としては製造していないため、飲用はお控えください。
- ③ 長期保存(冷暗所で1年)が可能です。
※直射日光、高温、凍結を避けて保管してください。
- ④ 水で希釈して使用できるので「安価」で「経済的」です。
※別紙「ナノバブル水の使い方」資料をご覧ください。
- ⑤ 20ℓ/箱で日本全国(離島を除く)に宅配便でお届けします。
※沖縄への配送は別途費用(1,450円)が掛かります。

『全国、様々な作物にご愛用頂いています!』



いちご



トマト



アスパラ

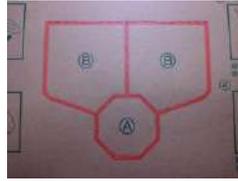


バラ

取扱い方法

【取出し口の固定方法】

上面の取出し口
「赤線部分」に
沿って開封します。



① A部を抜き取ります。② B部を外側に広げます。



完成

④ 開いたB部を元に戻し、容器の口部を固定します。

③ 容器の口部分を抜き取ったA部に引っ掛けます。

タンクやポリ容器などに
移してご利用ください。



【レバーコックの取り付け方法（K-20LC）】



① 「赤線部分」に
沿って開封をし、レ
バーコックを取り出
します。



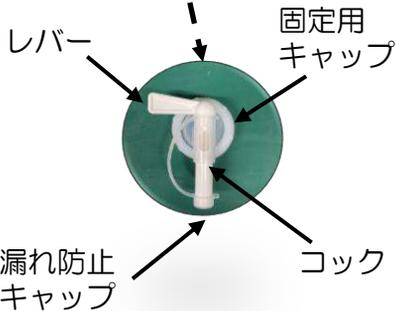
② 上記「取出し口の
固定方法に従って取出
し口を固定してから、
容器のキャップを外し
ます。



完成

③ 取出し口を押さえ
てコックを押し込み、
固定用キャップを回
して締めてください。

※コックが「止」になっていることを確認
してください。



台の上に横向きに
置いてご利用くださ
い。

株式会社 アースリンク

〒254-0013
神奈川県平塚市田村 1-18-3
TEL 0463(79)8350
FAX 0463(79)8351
E-mail : toiwase@earthlink.jp



販売店

お問い合わせ先

セイコーエコロジア

〒183-0046 東京都府中市西原町1-15-2
TEL.042-572-3326 FAX.042-572-3327
E-mail sl@ksks.co.jp
https://ecologia.100nen-kankyo.jp/





(特許 第5660510号)

(登録商標 第5648383号)

※Nano Earth (ナノアース) は産業技術総合研究所(国研)と共同開発(特許取得品)した商品です。

自動ナノバブル水 製造装置



NEGS-A100-SH

「水」と「空気」、自然の力で作物を元気に育てます。

収量UP

秀品向上

安定栽培



NEGS-A200-SH

「給水から製造までを自動で行う装置です。」

- 自動給水 自動運転のため、面倒な手間が一切掛かりません。
- ポンプ圧力で簡単にナノバブル水が取出せます。
- 寒冷地でも安心して使用できる凍結防止機能付きです。
- ナノバブル水の自動取出し機能も追加できます(オプション)
- AC100Vコンセントと水道ホース(耐圧)で簡単に接続できます。

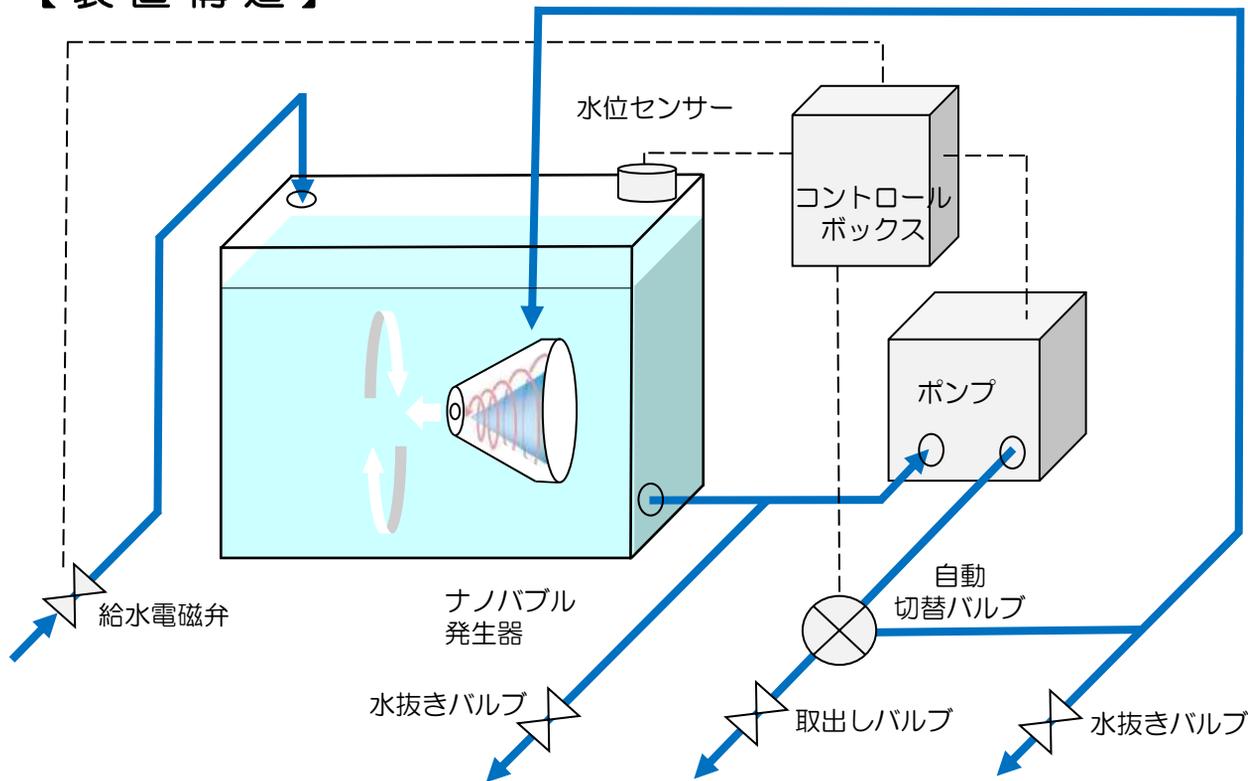


【仕様概要】

注) 送料、消費税、設置工事などの費用は含まれておりません。

	A100-SH	A200-SH	A300-SH	A500-SH
外寸	W850×D650×H1000	W1100×D1100×H1000	W1100×D1200×H1000	W1400×D1100×H1100
容量	100ℓ (取出し可能量 90ℓ)	200ℓ (取出し可能量 190ℓ)	300ℓ (取出し可能量 285ℓ)	500ℓ (取出し可能量 470ℓ)
重量	42 (kg)	46 (kg)	55 (kg)	64 (kg)
電源	AC100V (50Hz 60Hz)			
定格	150W (186W)	200W (236W)	250W (298W)	400W (460W)
材質	生成槽 樹脂 (PE製)		接液部 樹脂 (PVC)	
オプション	全機種 「自動取り出し機能」 取り付け可 (価格 +100,000円~)			
価格	853,000 円	1,200,000 円	1,500,000 円	2,000,000 円

【装置構造】



【機能説明】

【自動給水】

信頼性の高いフロートレススイッチでタンク内の水位を検出し、給水電磁弁が開いて給水し、満水になると自動停止するので給水に必要な人手は必要ありません。

【自動運転】

タイムスイッチで設定した時刻にナノバブル水の製造が始まり、設定した時刻で停止するのでスイッチのON-OFF作業は必要ありません。

【ポンプ圧力での取り出し】

ナノバブル水は、バルブを開けばポンプ圧力で取り出せるため、取り出しに時間はかかりません。

【凍結防止機能付】

外気温が5℃になると作動し10℃になると自動で切れる凍結防止ヒータを装備しているため、寒冷時期の凍結の心配はありません。

☆ 商品についてや使い方などのご質問はお気軽にお問い合わせ下さい。

株式会社 アースリンク

〒254-0013

神奈川県平塚市田村 1-18-3

TEL 0463(79)8350

FAX 0463(79)8351

E-mail : toiwase@earthlink.jp



販売店

お問い合わせ先

セイコーエコロジア

〒183-0046 東京都府中市西原町1-15-2

TEL.042-572-3326 FAX.042-572-3327

E-mail sl@ksks.co.jp

<https://ecologia.100nen-kankyo.jp/>



使用効果 [お客様の声] (抜粋)



現代農業 (2014年7月)

■長野県 B様 (いちご生産者様) [使用開始時期: 2011年9月]
夏に高温障害が発生し、ナノバブル活性水の使用を勧められて使用したところ、約1ヶ月で回復した。その年の収量は前年比25%増となった。
(農業新聞・現代農業に掲載)
株疲れが無く、色つやの良いしっかりとした果実が出来る。
うどん粉の発生なども抑えられて、株が元気な証拠だと感じている。



2019年10月撮影

■静岡県 U様 (いちご生産者様) [使用開始時期: 2012年10月]
使い始めてから8年目になるが、成長が早く病気にも強くなっている。成り疲れ出たときなど、数日で効果が出るのでナノバブル水の使用をやめられない。2019年には製造装置を増設して夏秋いちごの栽培にも使用を始め、より多くのナノバブル水が使えるようになった。
今後の収量増に期待している。



2018年5月撮影

■香川県 (T様) (いちご生産者様) [使用開始時期: 2012年10月]
根がしっかりと張り、株がしっかりと育ち、収量が落ちないので、定期的を使用をしている。
シーズン終了後に培土を耕耘するが、耕耘機が止まるほど根量が多くて驚いている。
培土の少ない「らくちん栽培(袋培地)」には効果が大きいと感じる。



2013年6月撮影

■山形県 (N様) (アスパラガス生産者様) [使用開始時期: 2013年6月]
ナノバブル水を使い始めてから茎が太く、成長が早い。
30年生産しているが、このように太いものは今まで出来たことがない。これは根っこがしっかりと張っている証拠だと感じている。
現在はナノバブル水製造装置を導入し、他の圃場にも灌水している。



2019年4月撮影

■山梨県 (S様) (トマト生産者様) [使用開始時期: 2013年7月]
使っていると玉伸びが良く、収量も落ちない。
2年程「根活20L」を使っていたが、継続的に使うために製造装置を導入した。近隣の生産者の収量が落ちている時でも安定した収量が維持できるので、ナノバブル水の効果だと感じている。



2019年1月撮影

■茨城県 (K様) (いちご生産者様) [使用開始時期: 2016年3月]
チップバーンに悩んでいた時に紹介を受けて使用を開始した。「こんな水みたいなものが効くのか」と不安であったが、チップバーンが劇的に減った。最初の2年間は「根活20L」を購入し試験区を分けて使用していたが、使用区は育ちが良く、特に苗では大きな違いが見られた。
3年間使用し間違いのない資材だと自信が持てたので、今では周りの仲間達に積極的に進めている。



2018年1月撮影

■神奈川県 (T様) (いちご生産者様) [使用開始時期：2014年7月]
育苗時に区画を分けて使用してみたところ、二週間後の成長差に驚いた。その年の定植から本格的に使用をしたが、前年度より20%程増の収量が得られたのでナノバブル水製造装置を導入した。
株がしっかりすることで、病害虫に強くなったと感じている。
今では使わないのが怖いほどで、ナノバブル水なしの栽培は考えられない。



日本農業新聞 (2016年6月8日)

■神奈川県 (T様) (いちご生産者様) [使用開始時期：2014年11月]
「根活20ℓ」を購入して使用開始し、「葉水の上が良い」事が確認できたので、ナノバブル水製造装置を導入して使用している。
使用開始したその年は日照不足で全国的に不作だったが、平年並みの収量が確保できた。
使えば使うほど効果を感じるので、今ではどの水にもナノバブル水を混ぜて使っている。装置の増設も考えている。



2016年1月撮影

■神奈川県 (S様) (いちご生産者様) [使用開始時期：2014年12月]
知人の勧めもあって試しに使用したところ、株が元気になり花が途切れないので驚いている。
育苗期にも使用しているが、肥料の吸収が良く、苗の育ちが良い。
このような間接資材で効果がここまで見えるものは他に今までなかった。
自動機を購入し、簡単にたくさん使えるようになったので、灌水にも、薬散にも、細霧にも使っている。細霧ノズルの詰まりも改善された。



2019年7月撮影

■神奈川県 (N様) (いちご生産者様) [使用開始時期：2015年7月]
定植時に試験的に使用してみたところ、活着がスムーズだったので、定期的に使っている。冬期の根の活性が良く、2月～3月の株疲れが少なくなった。
挿し苗時の発根も良く、今作(2019年)は親株の灌水にも使用してみたが、ランナーの伸びが良かった。
後作のメロン栽培にも使用しているが、初期育成が順調だった。



2017年12月撮影

■神奈川県 (K様) (いちご生産者様) [使用開始時期：2015年8月]
定植後から使用開始したが、根の張りが良いと感じた。株の勢いも強く、収穫量も多かった。
翌年は比較するため、使用を控えていたが、我慢出来ずに5月に製造装置を導入し、使用を開始したら、後半(5月～6月)の実が固くなったと感じた。
昨年は実が出来すぎて手が回らない程だったので、使用量と収穫のバランスを考えて使っていきたい。



2016年1月撮影

■神奈川県 (H様) (バラ生産者様) [使用開始時期：2015年6月]
最初は灌水時に使用していたが、剪定後の生育や厳寒期の花の成長が良いと感じた。
農薬散布時にも使用したところ、農薬の混ざりが良く、薬の効果が均等に効いている感じを受け、農薬の使用量を減少させることができた。
製造装置を購入してからは使う水にはどれでもナノバブル水を入れている。

株式会社 アースリンク

〒254-0013
神奈川県平塚市田村 1-18-3
TEL 0463(79)8350 FAX 0463(79)8351
E-mail : toiwase@earthlink.jp

販売店

お問い合わせ先

セイコーエコロジア

〒183-0046 東京都府中市西原町1-15-2
TEL.042-572-3326 FAX.042-572-3327
E-mail sl@ksks.co.jp
<https://ecologia.100nen-kankyo.jp/>

